



カモやアヒルは、どうして水の上^{みず うえ}にういてられるの

水鳥^{みずとり}の羽^{はね}は、水^{みず}をよくはじく

ニワトリやアヒルを^{かんさつ}観察していると、しっぽのつけ根^ねのあたりをくちばしでこすり、そのまま、くちばしを^{からだ}体の羽^{はね}のあちこちに、こすりつけているのを見かけます。頭^{あたま}をじかに、しっぽのつけ根^ねに、こすりつけていることもあります。

じつは、しっぽのつけ根^ねには、いぼのようになった、「びしせん」があり、ここからあぶらが^で出ています。そのあぶらを、くちばしで^{ぜんしん}全身の羽^{はね}にぬりつけているのです。あぶらが水をはじくため、カモやアヒルの^{ぜんしん}全身の羽^{はね}の内側^{うちがわ}には、水^{みず}が^{はい}入ってきません。

水鳥^{みずとり}の羽^{はね}は、うきぶくろ^{やくめ}の役目もある

水鳥^{みずとり}の羽^{はね}には、2種類あり、外側^{しゅるい}の水^{そとがわ}をはじく羽^{みず}の下^{はね}には、ふわふわした、綿^{わた}のようなやわらかい羽^{はね}（羽毛^{うも}）が^は生えています。この羽毛^{うも}はダウンとよばれています。羽毛^{うも}は、ふくらんで^{くうき}空気をたくさんふくんでいます。そのため、カモやアヒルは、水^{みず}をはじく外側^{そとがわ}の羽^{はね}の中に、^{くうき}空気を閉じこめた、うきぶくろ^{やくめ}をもっているようなものです。しかも、羽毛^{うも}は、^{かる}軽くて、とてもあたたかです。羽^{はね}ぶとんや、ダウンジャケットに^{うも}羽毛^{うも}が^{つか}使われているくらいです。そのため、水鳥^{みずとり}は、いつも、水^{みず}にういてられるのです。（監修・今泉 忠義）

